

あの手 この手

2015
11月号



▲深見歴史の森のオオケマイマイ
大和の森・公園シリーズ⑧⇒4面

あの手この手のマークの間のSはsolution(解決)のSです。

大和市民活動センター[拠点やまと] 第100号 2015年11月10日発行



「みんなで川へ」(堀かおりさん/上和田小4年/ペルー)

今年度の表紙は「やまと国際フレンドクラブ(IFC)」主催の
＜やまと国際アートフェスタ＞入賞作品を掲載しています。
今号は「Atelier My Heart賞」を受賞した作品です。

堀かおりさんのメッセージ

この作品は、家族の大切さを描きました。いつも
家族は、私が困ったとき相談にのってくれます。
私は、家族を大事にしていきたいです。

おかげさまで「あの手この手」が100号になりました！
カッコフェスタも10回、「やまとっこ☆みつけた」も250回！

**記念プレゼント
実施！**

当センター発行の広報紙「あの手この手」創刊号
は、センターが開設された2004年11月の翌年3月
に発行されました。

2007年9月発行の9号までは季刊、その後は月刊
となり、2010年度だけは隔月刊(39~44号)でした
が、以後月刊で発行し続け、今号でついに100号
を数えるに至りました。

これもひとえにセンターを利用し応援してくださ
った多くのみなさんのおかげと深く感謝していま
す。また、終わったばかりのカッコフェスタも

10回、さらに、FMやまとの「やまとっこ☆みつけ
た」も10月20日で放送250回と、期せずしてタイ
ミングも重なりました。

これを記念して みなさんへのプレゼントを用意い
たしました。折込の案内をご覧ください、センタ
ーにご持参ください。先着50名様に抽選で図書カ
ードほか各種景品をもれなく差し上げます。

なお、10周年記念誌「大和市民活動センター10年
のあゆみ」も遅ればせながら完成しました。セン
ターに置いてありますので、是非ご覧ください。

市民活動交流まつり カッコーフェスタ'15 写真レポート 11月7~8日

来場者は、初日は1600名、2日目は生憎の天気で500名でしたが、計2100名で大いに盛り上がりました！



▲「やまといきいき健康体操」でイベントスタート！



▲カトリア会のブースでは、子どもたちも、石粉粘土で花づくりを体験しました。



▲珍しいスティールパン(スティールドラム)の演奏も。終了後、みんな興味しんしんで自然と集まり、実際に叩かせてもらいました。演奏は、トリニダード・トバゴ出身、在日20年のロジャー・モーガンさん。



▲12月に設立記念ガラコンサートを開催するやまと国際オペラ協会の面々が美声を披露してくれました。右端が会長の長谷部さん。



▲「出張！やまとボランティア総合案内所」も開設。室外にもボランティア情報募集を貼り出し、興味ある人にご案内しました。



▲柏木学園高等学校短歌書道部の作品に思わず足をとめる人も。顧問の濱谷先生の達筆に「筆」の力を感じました。



▲南京玉すだれの会のワークショップ。南京玉すだれ(写真)のほか、血回し・傘回し、デビルスティックなどを披露。子どもたちも挑戦し、血回しは結構上手に回せる子も。

◆10周年を迎えたカッコーフェスタ。センター内外のスペースで、それぞれの活動のPRが繰り広げられました。出店団体のみなさんは、役割をしっかりと把握されていて、当日のテント上げもスムーズでした。**麦の香り**は“カッコちゃんパン”はじめ、パンの売れ行きがよく、午後1時には完売。**子どもエコクラブ**の“ゴミつりゲーム”も好調で、翌日のために飴を買い足したとか。**ナルク横浜**にはお馴染さんが立ち寄り、**チームピースチャレンジャー**のコーナーにも毎年訪れる人がいて、継続の大切さを実感しました。



大和市の観光資源を発掘、企画する会のワークショップで、大和十龍(とうりゅう)巡りのご朱印帳をみんなで作りました。⇒



▲チームピースチャレンジャーは、インドの民族衣装サリーの着付け体験も実施。「ナマステ！」

「神奈川県美化運動推進功労者」 として表彰されました！ 引地川水とみどりの会

引地川水とみどりの会は、今年度の神奈川県美化運動推進功労者として11月11日に黒岩祐治県知事より表彰されました。「地域における美化運動の推進に多年にわたり尽力」してきたことが高く評価されたものです。事務局長の五味さんは「これを機に、さらに活動に力を入れていきたい」と抱負を語ってくれました。なお、同会は、2008年にも、神奈川県央地区環境保全功労表彰を受けており、今回で二度目の表彰となります。

タッチで知る 親の気持ち、子の気持ち 「タッチ・プログラム」講座開催中！ 親と子のタッチ研究会

身体接触を通じ、親の心、子の心を素直に伝える「タッチ・プログラム」(FTP)。平成27年度大和市市民活動推進補助金事業として4回講座を開催中です。1回目は妊婦向けに8月に開催されましたが、2・3回目は支援者向け講座で、11月8日には高座渋谷のI K O Z Aで2回目が開催され18名が参加。さまざまなグループワークを通じ交流を深めつつ、子どもとの関わり方について楽しく学んでいました。3回目は11月29日、4回目は中高大生を中心に12月に開催します(下記参照)。

協働事業“はぐくねっと”活動8周年記念 イオンモール大和に「きて・みて・遊ぼう」

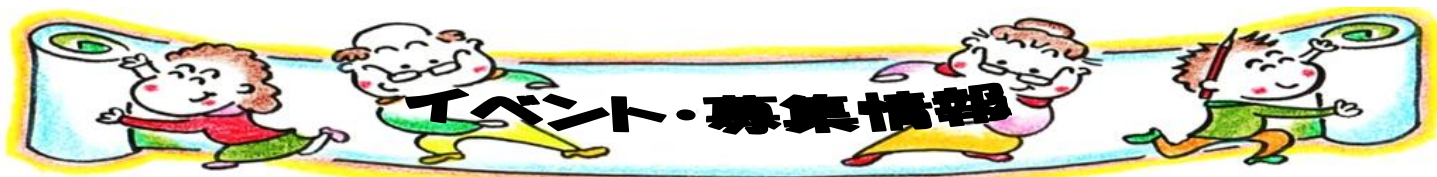
“はぐくねっと”とは、NPO法人地域家族しんちゃんハウスが協働事業に提案し、大和市子ども総務課とともに進めている子育て支援事業。当日は、ステージイベントのほか、パルーンアートコーナー、手形コーナー、身長・体重・相談コーナーなども設けられます。参加費は無料です。

日時：11月28日(土) 13:00開場
13:30～15:30(ステージイベント)
会場：イオンモール大和イオンホール
(下鶴間駅より徒歩7～8分)
問合せ：TEL 090-3685-2288(子ども～鶴間)
TEL 046-260-5606(大和市子ども総務課)

「タッチ・プログラム」講座第4回(最終回) 中高大生と次世代の子育てを考えよう！

「タッチ・プログラム」によって、さまざまな育児場面を参加者同士でロールプレイング(役割演技)しながら、実際の子育てで困る場面をイメージし、問題解決の糸口を考えます。今回は一般向けで、とくに若い人、中高大生は大歓迎です。

日時：12月13日(日) 14:30～16:30(受付14:15～)
対象：中高大生・保護者の方・乳幼児を子育て中の方
会場：大和市林間学習センター101号室
会費：300円(当日払い)
申込：E-Mail: developpsy@yahoo.co.jp
※氏名・年齢・性別・住所・電話番号・(学校名)を記入
主催：親と子のタッチ研究会 TEL 080-5872-8815



発達障がい児と家族のための ふれあいコンディショニング体操

発達障がいの子にありがちな“からだのクセ”に効果的なアプローチ法を学びます。手や背中、体のいろいろなところに触れて、感じて、遊ぶことを通して睡眠の質や排せつ力が高まり、身体をラクにするヒントを探ります。参加費は無料です。

日時：11月23日(月・祝) 13:30～15:00
講師：栗本啓司氏(からだ指導室あんじん主宰)
会場：横浜市立二つ橋高等特別支援学校体育館(駐車場あり)
※横浜市瀬谷区二ツ橋470 三ツ境駅より徒歩15分
申込：NPO法人ままま
TEL 045-303-5393(月～金 10:00～17:00)
FAX 045-442-3666(24時間可)

第13回マンション管理セミナー マンションと地元自治会の連携事例に学ぶ

マンションの管理組合と地元の自治会は、なかなか交流がないものですが、災害時にお互い助け合い連携した成功事例は全国にあります。その調査報告書をまとめた阪井さんに事例紹介と連携成功の秘訣をお話いただきます。会費無料です。

日時：12月19日(土) 18:30～20:00
会場：ユニコムプラザさがみはら セミナールーム1
※ポーノ相模大野サウスモール3階(相模大野駅直結)
講師：阪井暖子氏(前・国土交通省国土交通政策研究所研究官)
内容：マンションと地域連携による地域防災力の強化方策
主催：NPOかながわ県央マンション管理組合ネットワーク
問合せ：TEL: 046-264-6054(向井)

第68回共育セミナー「まちづくりワークショップ」 3人の方の成功事例もうかがえます！

12月13日(日)に勤労福祉会館で開催する当センターの「まちづくりワークショップ」。冒頭で3人の方に成功事例をうかがうことにいたしました。この話だけでも必聴です！

- ①「トイレ」と「龍」から 私たちの活動は広がった。
大和市の観光資源を発掘・企画する会 上田康史さん
- ②「レコード」と「コーヒー」が人と地域をつなげた。
今宿地域ケアプラザ(横浜市旭区)
地域交流コーディネーター 真鍋敦さん
- ③「映画誘致」と「プロレス」が街を元気にした。
社会福祉法人光友会(藤沢市)理事 杉下由輝さん

10月25日(日)／晴れ

デイスーパーハッピー鶴間で、柏木学園高校生4人が書道吟を披露。2人の女子が吟じる声に合わせて男子2人が大きな書道板にスラスラと筆を走らせ、息はぴったり。詩吟に合わせて剣舞の場面で挿入された「荒城の月」の歌を93歳の女性が高校生の声に合わせて歌い出し、釣られて参加者全員で合唱に。終了後も93歳を真ん中に詩吟や書道・剣舞の話が尽きませんでした。



「センター」の
ある日ある時



★やまとっこ☆みつけた★やまとっこ☆みつけた★やまとっこ☆みつけた★やまとっこ☆みつけた★やまとっこ☆みつけた★やまとっこ☆

★やまとっこ☆みつけた★やまとっこ☆みつけた★やまとっこ☆みつけた★やまとっこ☆みつけた★やまとっこ☆みつけた★やまとっこ☆

<出演しました！> 録音CDが大和市民活動センターにあります。

第249回◆10月6日放送分

歩遊会

~自らが介護されないように~

市主催の「介護予防サポーター講座」の受講者20名が終了後、健康維持を目的に「歩こう会」を発足させ、毎月第3水曜日に開催しています。「家に閉じこもらず地域の行事やボランティア活動に積極的に参加して、認知症知らずの老後を送りましょう」と話されたのは、会長の増井さん。副会長の太田さんは講座を受講してはいませんが、増井さんに誘われて入会。「自然に親しむウォーキングや登山が趣味だったので、歩遊会のことを最優先に活動しています」と満面の笑みで語りました。現在会員は23名になっています。中澤さんは、大和YMCAライフサポートセンター・深見大和地域包括支援センターの介護支援専門員。「楽しく暮らすには、運動とバランスのとれた食事が大事です。身近な高齢者の相談窓口である地域包括支援センターを活用してください」と呼びかけました。

第250回◆10月20日放送分

深見地区体育振興会+連合自治会

~外に出て、おいしい空気を胸いっぱい~

自治会と体育振興会がスクラムを組み、体育やレクレーションを通して地域住民の親睦を図っています。子どもから大人まで、住民の積極的な参加と盛り上げで深見・大和東小学校運動会は来年50回目、深見小学校はちょうど創立60年の還暦です。会長を務める太田さんはボーリングは200オーバー、バスケットで鍛えた体力と明るい人柄で、27もの単位自治会をまとめているのだと感じました。南雲体育振興会事務局長はアウトドア大好き人間。兄弟で仲良く3000m級の山を制覇し、リーダーシップも大いに発揮。行事企画のアイデアマンでもあり、今年のウォーキング大会は湘南平方面です。さあ、一緒に外に出て、おいしい空気を胸いっぱい吸って体を動かしましょう！



<11月の出演団体> ※出演希望の団体を募集中！ 詳しくは当センターまで。

第251回◆11月3日放送

親と子のタッチ研究会

親子が直接肌を触れ合うタッチプログラムを実施し、親や支援者、これから子育てする次世代に対し親になるための準備や養育スキルを高める活動をしています。

第252回◆11月17日放送

NPO法人地域家族しんちゃんハウス

11月28日に開催される「きて・みて・遊ば♪」は、大和市との協働事業「はぐくねっと」の一環イベント。8周年となるその活動について、お話いただけます。

大和市の森・公園シリーズ/第8回

鶴間駅から東に1km余、国道246号線南の境川沿いにある**深見歴史の森**。工場や民家に囲まれ、その存在は公道からは判りにくいのですが、保育園「おひさまのほっぺ」の脇から入ると、12.2haの豊かな森が広がっています。戦国時代の城址が発掘されたことから「歴史の森」の名があり、もともと石垣のある城址ではないため、土塁と空堀だけがわずかに当時の面影を残しています(写真上は空堀でもある天竺坂)。この森では、5年前から「その所の専門家」であるトコロジストグループ(写真下)が活動しており、観察会に同行させていただきました。野草の多い道沿いには調査中との札がついた植物が。これはウマノス



ズクサで、ジャコウアゲハの大好物。日当たりの良いところに植え替え、より繁殖させたところ、この森にもジャコウアゲハは生息するようになったそうです。実際、すぐそばの杭にはサナギが見つかりました。当日は、グループが2年前に発見した珍しいオオケマイマイにも出会えました(表紙上写真)。グループでは、会員の親睦を第一に、地域との交流と森の保全にも力を入れ、ゆくゆくは、森の生態系の頂点に立つ大鷹が住める森を目指しているそうです。大鷹の勇姿が見られる日が楽しみです。

編集後記

2日目は雨となった10回記念のカッコフェスタ。記念すべきときに限って得てしてそんなもの。私に関わる野外イベントは19回雨知らずが20回目にして見事に降られました。しかし、そうして市民活動は強くなるもの。今回も雨に負けないチームワークが見事でした。(と)